

第 22 期 事業年度

決 算 報 告 書

自 平成 24年 4月 1日

至 平成 25年 3月31日

本店所在地 下関市豊浦町大字室津下882番地

商 号 株式会社 フィッシャリーナむろつ

## 営業報告

第22期（平成24年4月1日より平成25年3月31日まで）の営業概要につきまして報告いたします。

当期における経済社会情勢は、いまだ東日本大震災の影響をうけ社会問題とし景気そのものは上向いているとはいえ難く、地方はむしろ厳しい環境下にさらされています。

このような状況の中、個人消費も低迷しており、ましてやレジャー関係にまで投資する余力は差し控えられた環境下にあると思われる。

当社は、委託事業として、宿泊、食堂、艇保管事業を行っており、特に主幹事業であります艇保管については、今年度の艇保管契約は平成26年3月31日をもって保管業務を停止する事から、平成25年3月末現在40艇と昨年より17艇減となりました。

艇保管料の徴収につきましては、完納となっています。

全体の保管艇数は90艇（第1棧橋62艇、第2棧橋28艇）に対し、現状第1棧橋30艇、第2棧橋10艇で保管率44パーセントとなっています。

棧橋施設の耐用年数も過ぎており、かなり老朽化している現状で、今年度も一層保安管理に重点を置き、当施設の維持管理には、本年度も強風による被害をうけ、棧橋のメンテナンス費用として、386万8千円支出しており過去6年間で約3,595万円の保守経費を費やしました。このことは経営上、大きな問題点です。

本年度営業損益につきましては、総売上高1,775万円、営業費用1,884万円となっており営業利益はマイナス109万円となりました。

## 貸借対照表

平成25年 3月31日 現在

(単位：円)

項 目	金 額	項 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金	130,095	買掛金	0
普通預金	15,431,632	短期借入金	0
未収入金	0	未払費用	361,645
艇保管料未収金	0	預り金	6,230
宿泊料未収金	0	未払法人税等	91,300
棚卸商品	11,342	未払消費税	406,300
前払費用	0	流動負債合計	865,475
仮払金	731,542	II 固定負債	
その他の流動資産	0	長期借入金	0
貸倒引当金	0	預り契約保証金	11,060,000
流動資産合計	16,304,611	固定負債合計	11,060,000
II 固定資産		負債合計	11,925,475
(有形固定資産)	22,893,298	(純資産の部)	
建物	1,928,829	I 株主資本	
構築物 (アスファルト)	294,300	資本金	20,000,000
浮棧橋	20,475,755	資本剰余金	
給水設備	194,414	資本準備金	0
工具・器具備品	0	その他資本剰余金	0
その他の固定資産	0	資本剰余金合計	0
(無形固定資産)	0	利益剰余金	
電話加入権	0	利益準備金	0
(投資その他の資産)	0	その他利益剰余金	0
出資金	0	別途積立金	0
保険積立金	0	繰越利益剰余金	7,272,434
役員貸付金	0	利益剰余金合計	7,272,434
負担金 (第2浮棧橋)	0		
その他	0	自己株式	0
固定資産合計	22,893,298	株主資本合計	27,272,434
III 繰延資産		II 評価・換算差額等	0
		III 新株予約権	0
繰延資産合計	0	純資産合計	27,272,434
資産合計	39,197,909	負債・純資産合計	39,197,909

## 損益計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

(単位:円)

項 目	金	額
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高		17,749,760
艇保管料収入	10,368,920	
委託料収入(市)	2,295,700	
宿泊・使用料収入	1,007,590	
食堂売上	4,077,550	
売上原価		1,691,230
売上総利益		16,058,530
販売費・一般管理費		17,149,637
営業利益		△ 1,091,107
営業外収益の部		
営業外収益		
受取利息	1,724	
受取配当金	0	
雑収入	134,150	
営業外収益合計		135,874
営業外費用		
支払利息	0	
雑支出	0	
営業外費用合計		0
経常利益		△ 955,233
特別損益の部		
特別利益		
固定資産売却益	0	
貸倒引当金繰戻額	0	
前期損益修正益	0	
特別利益合計		0
特別損失		
固定資産売却損	0	
貸倒引当金繰入額	0	
固定資産除却損	0	
特別損失合計		0
税引前当期純利益		△ 955,233
法人税、住民税及び事業税		182,500
当期純利益		△ 1,137,733
前期繰越利益		8,410,167
当期末処分利益		7,272,434

(注) 売上原価は食堂売上に対するもので、食材等の仕入にかかる費用である。

## 株式会社 フィッシャリーナむろつ

## 販売費及び一般管理費

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

(単位：円)

NO	科 目	金 額	摘 要
1	給 料 手 当	4,367,919	
2	通 信 費	93,709	
3	水 道 光 熱 費	1,492,019	
4	広 告 宣 伝 費	79,950	
5	接 待 交 際 費	27,155	
6	修 繕 費	3,906,600	
7	租 税 公 課	1,039,300	
8	消 耗 品 費	70,197	
9	建 物 減 価 償 却 費	330,561	
10	浮 棧 橋 減 価 償 却 費	4,459,136	
11	アスファルト減価償却費	160,380	
12	給水設備減価償却費	61,360	
13	負担金減価償却費	0	
14	施 設 管 理 費	110,939	
15	会 議 費	3,210	
16	損 害 保 険 料	8,360	
17	管 理 手 数 料	0	
18	地 代 家 賃	0	
19	寄 付 金	5,000	
20	雑 費	933,842	
販売費及び一般管理費合計			17,149,637

株主資本等変動計算書

株式会社 フィッシャリーナむろつ

平成25年3月31日 現在 (単位：円)

	株主資本									評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己 株式	株 主 合 計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本剰余 金合計	利 益 準備金	その他利益剰余金								利 益 剰余金 合計
						別途積立 金	繰越利益 剰余金							
前期末残高	20,000,000	0	0	0	0	0	8,410,167	8,410,167	0	28,410,167	0	0	0	28,410,167
当期変動額				0				0	0	0				
新株の発行				0				0	0	0				
剰余金の配当				0				0	0	0				
剰余金の配当に伴 う利益準備金の積 立て				0				0	0	0				
				0				0	0	0				
当期純利益				0			△ 1,137,733	△ 1,137,733	0	△ 1,137,733				△ 1,137,733
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				0				0	0	0				
当期変動額合計	0	0	0	0	0	0	△ 1,137,733	△ 1,137,733	0	△ 1,137,733	0	0	0	△ 1,137,733
当期末残高	20,000,000	0	0	0	0	0	7,272,434	7,272,434	0	27,272,434	0	0	0	27,272,434

個別注記法による注記項目

I 重要な会計方針に関する注記

- ① この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。
- ② 固定資産の減価償却の方法      有形固定資産      定額法
- ③ 棚卸資産の評価方法              最終仕入原価法
- ④ 消費税等の会計処理              税込経理方式を採用しております。
- ⑤ 貸借対照表の表示の変更      新会社法の施行に伴い、貸借対照表の「資本の部」を「純資産の部」として表示しております。

II 貸借対照表に関する注記

- ① 担保提供資産等                      該当なし
- ② 有形固定資産の減価償却累計額      167,384,090 円
- ③ 保証債務残高                          該当なし
- ④ 受取手形保証残高                      該当なし

III 株主資本等変動計算書に関する注記

- ① 当該事業年度の末日における発行株式の数                      400株
- ② 当該年度中に行った剰余金の配当に関する事項                      該当なし
- ③ 当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項              該当なし

IV その他の注記

平成26年3月31日を以て事業閉鎖を予定している。

# 監 査 報 告

(株)フィッシャリーナむろつ  
代表取締役社長 濱岡 歳生様

## 1 監査概要


平成 25 年 5 月 9 日 (木) 午後 1 時 30 分より、下関市豊浦総合支所において、平成 24 年度 (平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで) の株式会社フィッシャリーナむろつの営業報告並びに収支決算報告書に基づいて帳票類、証拠書類等について監査しました。

## 2 監査意見書

監査の結果、私達監査役の意見は次のとおりです。

- (1) 営業報告並びに会計処理の内容は、適正に表示されていました。
- (2) 収支決算書は商法並びに本社定款に照らし、適正に処理され、財務状態を適正に表示されていました。
- (3) 財務状況については、平成 26 年 3 月末での事業閉鎖通知を各々の艇保管主に提出していることから 17 艇の脱退者とその保管料が昨年より 3,081 千円減少致しております。閉鎖を目前にはしていますが、棧橋のメンテナンス費用に多額の経費が投資されています。次年度が最終年度になるので、できる限り自己資本の充実に向けた経営努力を一層求めます。

平成 25 年 5 月 9 日

監査役 森村 和明 

守永 賢治 